

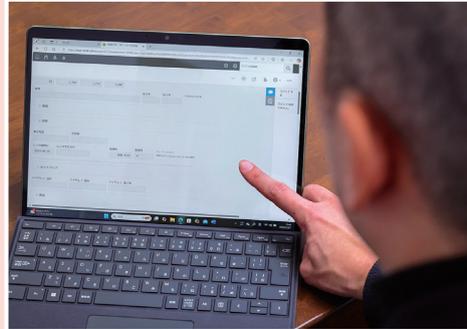
補助金 活用術

活用した補助金

仙台市地域企業デジタル化サ ポート補助金(仙台市)

補助額:最大50万円

市内の中小企業が、専門家によるコンサルティングを受けながら、ITツール等を活用した非効率な業務のデジタル化、ビジネスモデルの転換などを通し、生産性向上・競争力強化を図る取り組みの経費の一部を補助。



車両や顧客のデータを デジタルで一元管理!

効率的な管理で、残業時間も削減!

今回の 取材先

株式会社太陽自動車工業所
執行役員 工藤 基さん



操作も簡単で、スタッフみんなの効率化を図ることができました!

修理、販売、買取、リースなど、トラックのことなら何でも相談できる株式会社太陽自動車工業所。宮城野区扇町に工場と社屋を構え、約60人のスタッフが働いています。仙台市地域企業デジタル化サポート補助金を活用して導入したのは、車両や顧客のデータを一元管理できるサービス「kintone」。デジタル化でどんなメリットがあったのか、お話を伺いました。

工藤さんの
より詳しい
インタビューは
こちらから!



事業者情報

株式会社太陽自動車工業所

仙台市宮城野区扇町3-8-15

TEL: 022-235-0101

WEB: <https://www.taiyotruck.co.jp/>



事業者HP



課題

車両や顧客のデータをリアルタイムに把握できない

各部署によって、車両データや顧客データの管理方法が異なるため、工場側が把握している情報と、営業側が把握している情報に差異が生まれ、業務効率が低下していました。さらに、データの管理には、スタッフが自前で作成したExcelやAccessを使っていたので、そのスタッフが不在だと不具合を解消できなかったり、パソコンが替わると動かなくなったりするなど、データをリアルタイムに把握することが難しい状況でした。

ポイント

kintoneでデータを一元管理し、全部署でのリアルタイム共有が可能に

kintoneを導入したことにより、全ての部署で、車両の状況や顧客データの確認・編集ができるようになりました。今現在、車両がどういう状況なのか一目でわかるようになったので、お客さまに説明するのもストレスなく行えるようになりました。ワークフローも分かりやすく、把握しやすくなりました。

全部署が同じ画面を見ながら操作できるように

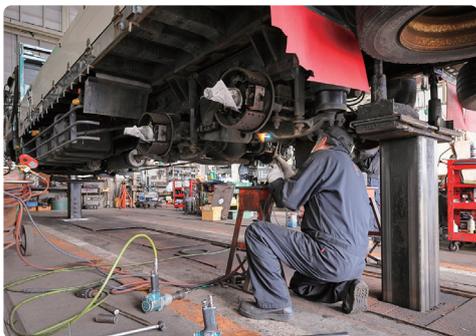


効果

直感的な操作性と、データのリアルタイム共有で、業務効率化を実現

1 車両の状況が一目で把握できるように

これまでは、車両の修理や整備の状況を確認するためには、車体を直接見たり、スタッフに聞く必要がありましたが、kintoneを導入したことで、一目で状況の確認ができるようになりました。当社では、車の仕入れから、修理、売却、リースまで幅広く請け負っているため、車両の整備状況等をリアルタイムで把握することが重要であり、その確認作業の負担が大幅に減少したと感じています。



修理や構造変更にかかる期間や状況も把握できるように

2 どんなスタッフでも、直感的に操作できる

現在当社で働いているスタッフは60名ほど。そのうち30~40人ほどがkintoneに触っています。事務作業が得意なスタッフから、車両を専門に扱うスタッフまでさまざまな人がいますが、kintoneは直感的に操作しやすく、データベースの作成や更新が簡単にできるので、抵抗なく導入することができました。



広い工場でさまざまなスタッフが働いている

3 管理スタッフの残業の削減にも

これまで発生していた確認作業やデータの統合作業が圧倒的に少なくなったので、事務や経理を担当していたスタッフの残業時間もかなり削減することができました。業界の課題である「人手不足」の解消に資するシステム導入だったと感じています。



働きやすく、やりがいのある会社に

仙台市中小企業応援窓口にご相談ください



仙台市では各種補助金の紹介・申請書類の作成支援などを行っています。中小企業診断士、社会保険労務士、税理士などの専門家が無料で相談に応じますので是非ご利用ください。

仙台市中小企業応援窓口
[運営](公財)仙台市産業振興事業団
Tel: 022-724-1122 (平日9-17時)



◀ 詳しくはこちら